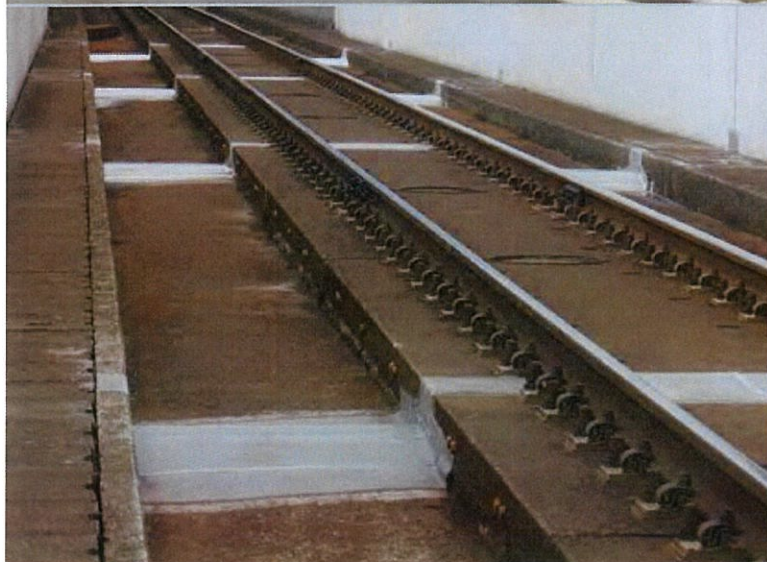


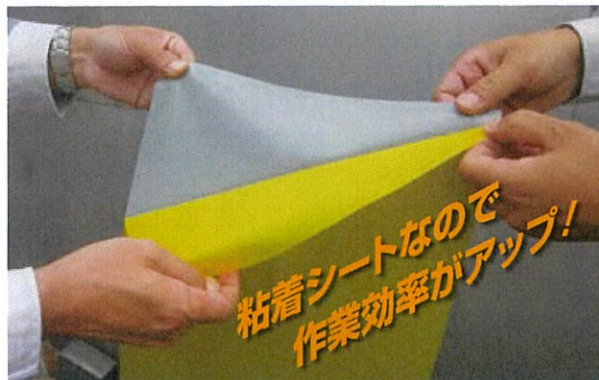
建設・土木用防水シリコン粘着シート  
**シンエツ パッチシール**<sup>®</sup>  
パッチシールトウメイ<sup>™</sup>  
パッチシールクロス<sup>®</sup>

国土交通省  
新技術情報提供システム  
NETIS登録 TH-140017-A

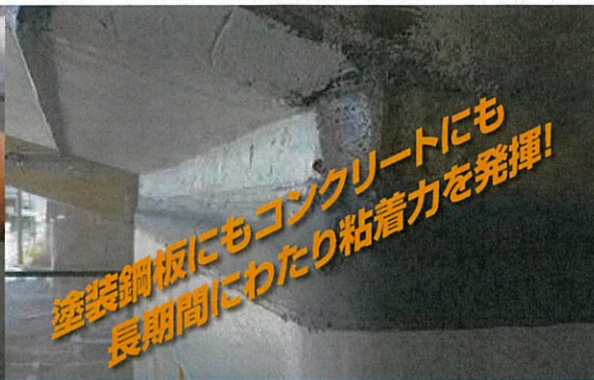
**ShinEtsu**

信越シリコン





粘着シートなので  
作業効率がアップ!



塗装鋼板にもコンクリートにも  
長期間にわたり粘着力を発揮!



シンエツ パッチシールの粘着力

パッチシールクロスの粘着力

# 工期短縮 & 長期信頼性

## シンエツ パッチシール®

## パッチシールトウメイ™

## パッチシールクロス®

プライマー不要、優れた作業性と信頼性を兼ね備えた建設・土木用防水シリコン粘着シート

「シンエツ パッチシール」(特許取得済み:第5765268号)は、

「シリコン粘着シートを使用した壁高欄防水・防食の工法」に最適なシートとして

新技術提供システムNETIS TH-140017-Aに登録されています。

また、「パッチシールクロス」は、ガラスクロスで補強されており、強度が必要とされる用途に最適です。

### 耐熱性・耐寒性

-40℃~180℃の広い温度範囲にわたって、安定した性能を発揮します。

### 耐久性・耐候性

シリコン製なので、優れた耐久性、耐候性を発揮します。

### 防水性

長期間にわたり、優れた気密・防水効果を発揮します。

### 粘着性

粘着性に優れ、金属、コンクリートなどほとんどの材質によく粘着します。

### 非腐食性

シンエツ パッチシールは金属やコンクリートなどを腐食・変質させることはありません。

### 耐炎性

発煙筒の直火が5分以上当たっても延焼・炭化しません。

### 加工性

防水面の形状に合わせ、現場で簡単にカットして施工できます。

### 安全性・環境性

シリコン製なので、安全性が高く、環境にも優しい製品です。

#### シンエツ パッチシール登録情報

国土交通省 新技術情報提供システム NETIS登録 TH-140017-A、KT-130038-A  
東京都建設局新技術登録 1701015 / 茨城県土木部新技術登録 a-17057  
首都高速新技術情報(橋梁)シリコン粘着シート

## Contents

### シンエツ パッチシール パッチシールトウメイ パッチシールクロス

特長/標準製品サイズ/構造/一般特性	.....	P2
粘着力	粘着性試験/引張せん断試験/ひび割れ追従性試験/付着強さ試験/疲労耐久試験	..... P4-5
耐火性	耐炎性試験/防火性能試験/耐火花性試験	..... P6-7
電気特性	絶縁破壊試験	..... P7
パッチシールクロスの押し抜き試験	.....	P7
信頼性	耐候性試験/屋外放置試験/塩害暴露試験/耐水・耐塩水・耐アルカリ・耐酸性試験	..... P8
施工実績	橋梁/トンネル/排水溝/水槽/その他	..... P9-12
施工要領	.....	P13

### シンエツ パッチテープ

特長/包装・標準製品サイズ/一般特性/構造/施工例	.....	P14
---------------------------	-------	-----

パッチシールクロスリペアキット	.....	P15
-----------------	-------	-----

取り扱い上の注意事項	.....	P15
------------	-------	-----

■ 標準製品サイズ

シンエツ パッチシール



シートタイプ  
 ・ 300mm×1,000mm(1梱包:10枚)  
 ・ 400mm×1,000mm(1梱包:10枚)

ロールタイプ  
 ・ 50mm×3,000mm(1梱包:20巻)  
 ・ 100mm×3,000mm(1梱包:10巻)

パッチシールトウメイ

黄色いセパレータ  
 フィルムを剥がして  
 使用します。



シートタイプ  
 ・ 300mm×1,000mm(1梱包:10枚)  
 ・ 400mm×1,000mm(1梱包:10枚)

ロールタイプ  
 ・ 50mm×3,000mm(1梱包:20巻)  
 ・ 100mm×3,000mm(1梱包:10巻)

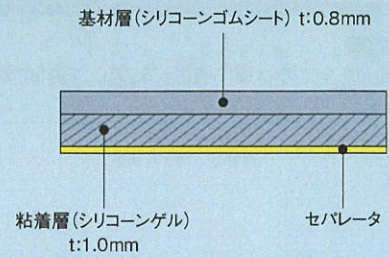
パッチシールクロス



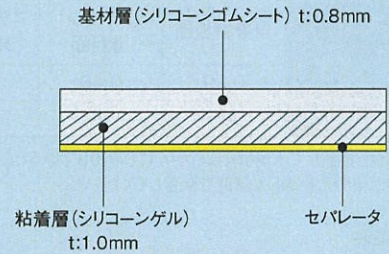
シートタイプ  
 ・ 400mm×1,000mm(1梱包:10枚)

■ 構造

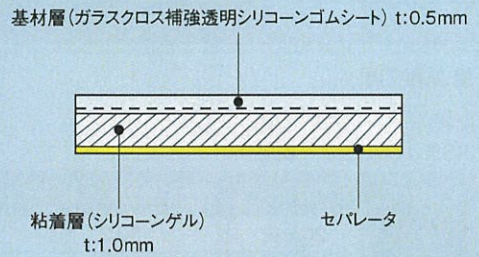
シンエツ パッチシール 断面(厚さ=1.8mm)



パッチシールトウメイ 断面(厚さ=1.8mm)



パッチシールクロス 断面(厚さ=1.5mm)



■ 一般特性

項目	製品名	シンエツ パッチシール HNS-200	パッチシールトウメイ HNS-200T	パッチシールクロス HNS-200B
特長		一般タイプ	透明タイプ	ガラスクロス補強タイプ
外観		灰色	透明	白色透明
補強層		なし		ガラスクロス
標準サイズ	mm	シートタイプ:300×1,000 ロールタイプ:50×3,000	400×1,000 100×3,000	シートタイプ:400×1,000
厚さ	mm	1.8		1.5
粘着性		自己粘着性		自己粘着性
ゴム硬度 デュロメータA		55(粘着部:アスカー-CSR2 15以下)		70(粘着部:アスカー-CSR2 15以下)
引張強さ	MPa	10		70
引裂強さ	kN/m	50		250
切断時伸び	%	800		2
使用温度範囲	°C	-40~180		-40~180
絶縁破壊電圧	kV	30以上		20以上
難燃性 UL94		HB相当		—
低分子シロキサン量	%	0.83(Σ D <sub>3</sub> -D <sub>10</sub> )		0.27(Σ D <sub>3</sub> -D <sub>10</sub> )

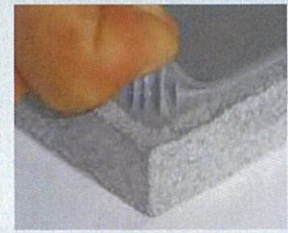
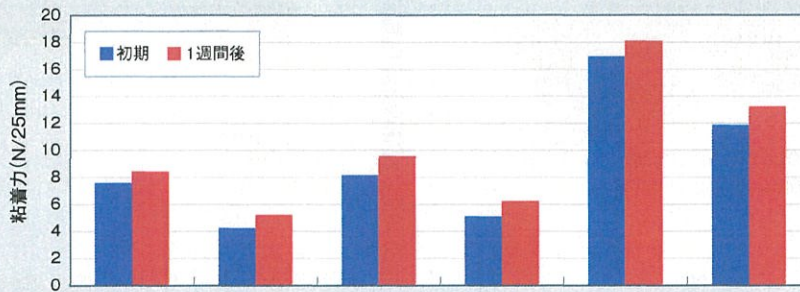
(規格値ではありません)

# 粘着力

## 粘着性試験 さまざまな材質に強い粘着力を発揮します。

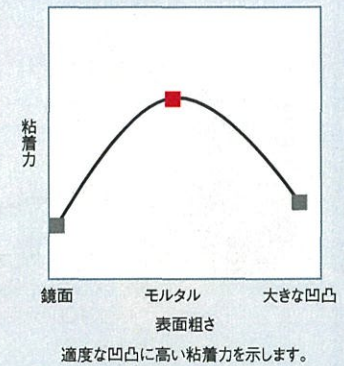
### ■ 試験結果

試験をした全ての材質に強固に粘着し、1週間放置後には粘着力が増加した。



敷設後、端部を少し引き上げて、糸引き状態を確認してください。

### ■ 粘着力と表面粗さの関係 (イメージ)



被着体	炭素鋼板面	エポキシ塗料面	ステンレス面 (表面処理)	FRP樹脂面	モルタル面	アスファルト面
表面粗さ Ra $\mu\text{m}$	0.29	0.40	0.49	0.50	NA	NA
粗さのレベル	小	小	小	小	中	大

- 被着体から連続して水が噴き出したり、にじみ出しているところでは粘着力は発現しません。被着体が十分に乾燥した状態で装着してください。

### ■ 試験条件

- ・ テストピース シンエツ パッチシール HNS-200 長さ200mm×幅25mm
- ・ 試験方法 シンエツ パッチシールを各種被着面に手で貼り、20分後と1週間屋外放置後に株式会社島津製作所製オートグラフにてJIS C 2107電気絶縁用粘着テープ試験方法に準じた180°方向剥離試験で粘着力を測定(テストスピード:300mm/min)。

## 引張せん断試験 大きな動きに追従します。

### ■ 試験結果

#### シンエツ パッチシール JISモルタルへの一枚貼り

貼り付け面	時間	最大試験力 N/40mm	変位量 mm
モルタル	20分後	30.2	42.6
	4日後	70.3	80.3
	8日後	73.4	85.6

※変位量は最大試験力を示した時の値です。(規格値ではありません)

#### 重ね合わせ部分の粘着力

貼り付け面	時間	最大試験力 N/40mm	変位量 mm
モルタル	20分後	23.2	32.6
	4日後	60.4	68.7
	8日後	61.6	70.3

※変位量は最大試験力を示した時の値です。(規格値ではありません)

#### パッチシールクロス

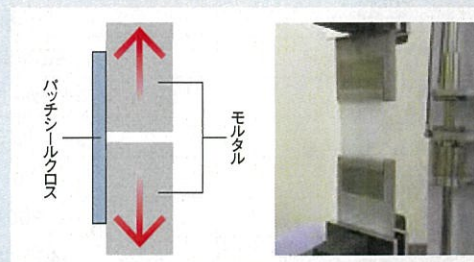
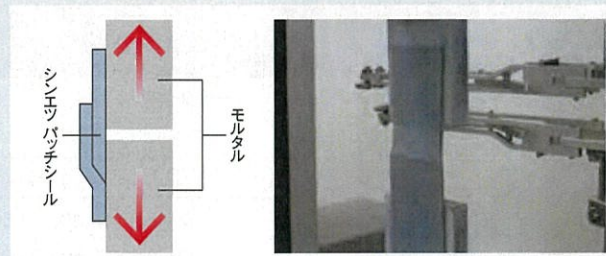
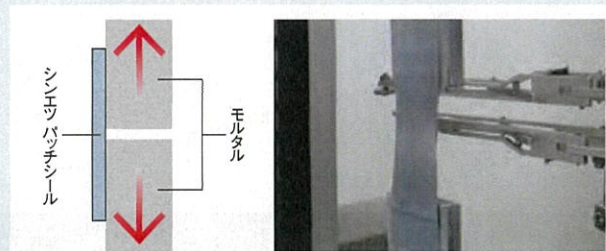
#### JISモルタルへの一枚貼り

貼り付け面	時間	最大試験力 N/40mm	変位量 mm
モルタル	20分後	84.0	53.0
	4日後	92.0	55.0
	8日後	88.0	56.0

※変位量は最大試験力を示した時の値です。(規格値ではありません)

### ■ 試験条件

- ・ テストピース シンエツ パッチシール HNS-200およびパッチシールクロス HNS-200B 長さ60mm×幅40mm
- ・ 被着体 JISモルタル
- ・ 試験方法 上図のようにシンエツ パッチシールまたはパッチシールクロスを二分割したモルタルに貼り、ゼロスパン状態から株式会社島津製作所製オートグラフにて引張せん断接着強さを測定(テストスピード:50mm/min)。



## ひび割れ追従性試験 優れたひび割れ追従性を発揮します。

### ■ 試験結果

シンエツ パッチシール、パッチシールクロスが破断することなく、モルタル基材から剥離した。

### 最大引張強さを示した時の変位量

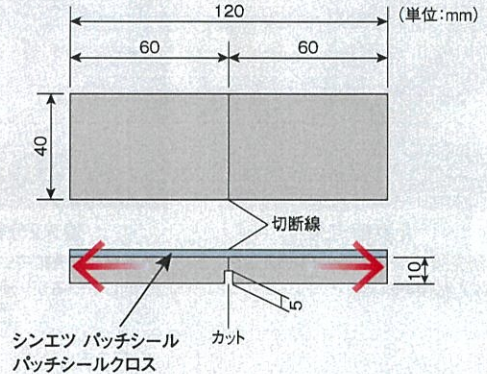
条件	テストピース	シンエツ パッチシール	パッチシールクロス
一枚貼り品	mm	40.77	49.85
重ね合わせ品	mm	55.55	44.66

(規格値ではありません)

### ■ 試験条件

- ・テストピース シンエツ パッチシール HNS-200およびパッチシールクロス HNS-200B
- ・被着体 JSCE-K 532-2013準拠テストピース(モルタル)
- ・試験方法 JSCE-K 532-2013 :  
7.表面被覆材のひび割れ追従試験方法(案)に準じて測定。  
切断したモルタルテストピース同士をゼロスパンで突き合わせ、  
表面にブリッジ状にシンエツ パッチシールまたはパッチシールクロスを貼る。  
モルタルテストピース同士を5mm/分の速度で水平に引き離して、  
製品の破断や剥離の状態を確認する。
- ・測定機関 一般財団法人 日本塗料検査協会

### ■ 試験体の形状



## 付着強さ試験 垂直方向にも優れた粘着力を発揮します。

### ■ 試験結果

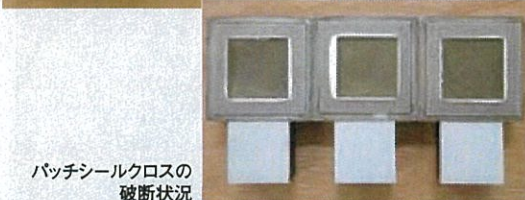
優れた付着強さを確認できた。

項目	テストピース	シンエツ パッチシール	パッチシールクロス
付着強さ	N/mm <sup>2</sup>	0.10	0.09
最大引張荷重	N	155	148
破断場所		基板と粘着層の界面破断	粘着層の凝集破壊

(規格値ではありません)

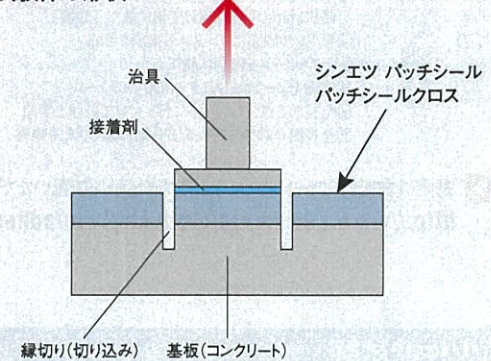


シンエツ パッチシールの  
破断状況



パッチシールクロスの  
破断状況

### ■ 試験体の形状



### ■ 試験条件

- ・テストピース シンエツ パッチシール HNS-200およびパッチシールクロス HNS-200B
- ・被着体 JSCE-K 531-2013 :  
6.表面被覆材の付着強さ試験(案)、4.1標準状態試験体の  
試験方法準拠テストピース(モルタル)
- ・試験方法 JSCE-K 531-2013 :  
6.表面被覆材の付着強さ試験(案)、4.1標準状態試験体の試験方法に準じて測定。  
モルタルテストピースに貼ったシンエツ パッチシールまたはパッチシールクロスの背面に  
固定した治具を鉛直方向に1,500~2,000N/分で引っ張り上げ、  
最大引張荷重と付着強さを求める。また、その際の破断箇所と状態を確認する。
- ・測定機関 一般財団法人 日本塗料検査協会

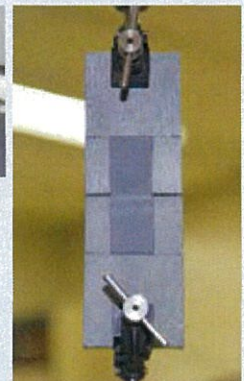
## 疲労耐久試験 長期の振動にも耐えます。

### ■ 試験結果

2,000万回まで破壊・ズレは発生せず、優れた疲労耐久性が確認できた。

### ■ 試験条件

- ・テストピース シンエツ パッチシール HNS-200およびパッチシールクロス HNS-200B  
長さ60mm×幅20mm
- ・被着体 JISモルタルテストピース(長さ150mm×幅50mm、厚さ10mm)を長手方向に半分に切断し、  
ブリッジ状にシンエツ パッチシールまたはパッチシールクロスを貼り付ける。
- ・試験方法 上記を疲労耐久試験機にセット。ゼロスパン状態から上下に1.5mmの隙間をつかった状態をスタートとし、  
上下に±1.0mm(振幅2.0mm)で10Hzの伸縮を2,000万回与える。この間に疲労破壊・ズレ・剥離の有無を確認する。



▶ 動画は右記QRコードまたはウェブサイトより、ご覧いただけます。

[http://www.silicone.jp/products/type/adhesive\\_sheets/](http://www.silicone.jp/products/type/adhesive_sheets/)



# 耐火性

## 耐炎性試験 発炎筒を直接当てても燃焼拡大はしません。

### ■ 試験経過および結果



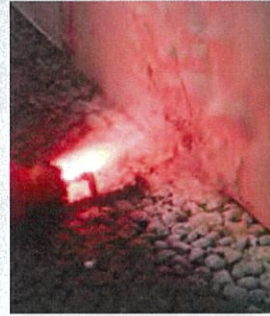
発炎筒点火

発炎筒を点火し、シートに押し付けて燃焼を開始。



着火2分後

発炎筒に接触している部分から燃焼しているが、延焼はしていない。



着火4分後

発炎筒に接触している付近のシートの変形は確認されたが、延焼はしていない。



5分40秒後

発炎筒燃焼終了。

直接火が当たっていた部分は灰化しているが、燃焼拡大はしていない。  
非常に優れた耐炎性を確認できた。

### ■ 試験条件

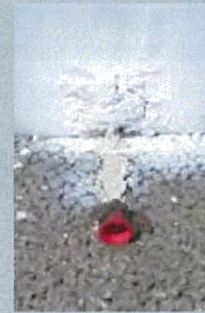
- ・テストピース シンエツ バッチシール HNS-200 長さ500mm×幅300mm
- ・試験方法
  - ①幅360mm×高さ600mm、厚さ50mm、重量30kgの試験体モルタルブロック2枚を、幅50mmの隙間を空けて横に並べて設置
  - ②モルタル表面にウレタン系塗料を塗布
  - ③テストピースを隙間に施工
  - ④端部をシーラントマスター300-Gでシール
  - ⑤発炎筒を点火し、シートに押し付けて試験を開始
  - ⑥発炎筒が燃焼し終わる(5分強)まで、状態を観察

▶ 動画は右記QRコードまたはウェブサイトより、ご覧いただけます。

[http://www.silicone.jp/products/type/adhesive\\_sheets/](http://www.silicone.jp/products/type/adhesive_sheets/)



### 耐炎性試験終了後の外観



表側



裏側(拡大)

## 防火性能試験 優れた防火性能を発揮します。

NEXCO基準による試験

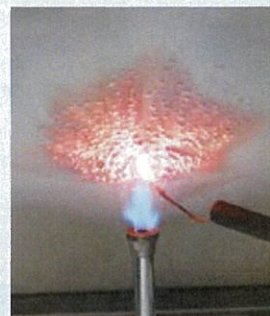
### ■ 試験経過および結果



着火前



燃焼開始直後



7分後

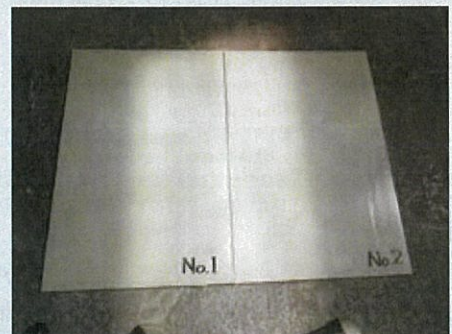


燃焼後

直接、火が当たっていた部分は灰化しているが、燃焼拡大はしていない。  
優れた防火性能が確認できた。

### ■ 試験条件

- ・テストピース バッチシールクロス HNS-200B 長さ600mm×幅900mm
- ・試験方法 NEXCO試験方法 試験法738-2011「トンネル保有材料の延焼試験方法」に基づいて測定。加熱時間は10分で、燃焼ガスはLPGを使用する。
- ・測定機関 一般財団法人 建材試験センター



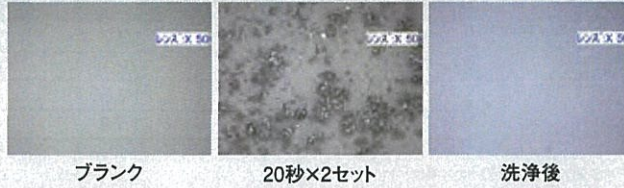
バッチシールクロス

## 耐火花性試験 直接火花を当てても、パッチシールはほとんど変化しません。

### ■ 試験方法および結果



### デジタルマイクروسコープによる表面観察結果

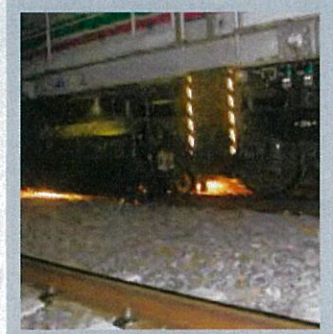


試験後のシート表面には研磨による鉄粉が付着しているが、アルコールで洗浄すると目立った変化はなかった。

### ■ 試験条件

- ・テストピース シンエツ パッチシール HNS-200 長さ100mm×幅50mm
- ・試験方法 新ダイワ工業株式会社製切断機により鉄丸棒を用いて研磨環境を再現。

SUS板に貼り合わせたシンエツ パッチシールを火花発生部から15cmに固定して火花を発生させ、表面を観察。



鉄道では、レール補修用の車両を走行させて異常部分を研磨しています。合成ゴムなどのシール材では研磨時に発生する火花により劣化しますが、シンエツ パッチシールはほとんど影響を受けません。

## 電気特性

### 絶縁破壊試験 優れた電気絶縁性を持ち、電気的にも安全です。

### ■ 試験結果

テストピース	絶縁破壊電圧 kV
シンエツ パッチシール	33.6
パッチシールクロス	26.1

(規格値ではありません)

### ■ 試験条件

- ・テストピース シンエツ パッチシール HNS-200またはパッチシールクロス HNS-200B(100mm角)
- ・試験方法 ①シンエツ パッチシールおよびパッチシールクロスをアルミ板に貼る。  
②高圧側:φ20mm球電極、低圧側:アルミ板電極で挟み、絶縁油中で2.0kV/secで昇圧(AC50Hz)。  
③絶縁破壊時の印加電圧を測定。
- ・測定機関 日立化成テクノサービス株式会社 分析センター



電極の状態

## パッチシールクロスの押し抜き試験

NEXCO基準による試験

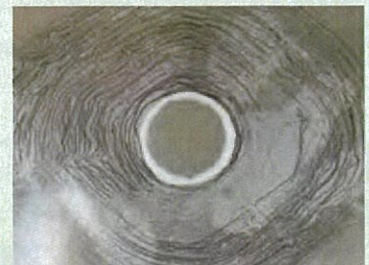
トンネルはく落防止用繊維シート接着工の押し抜き試験 パッチシールクロスは、NEXCO基準(小片はく落対策工)ネット系・樋系工法に適合します。

### ■ 試験経過および結果

条件	最大荷重 (変位10mm~50mm) N	最大荷重時の変位 (変位10mm~50mm) mm	最大荷重 (変位10mm~) N	最大荷重からの変位 (変位10mm~) mm
テストピース				
試験体1	651	50	875	82
試験体2	706	50	888	78

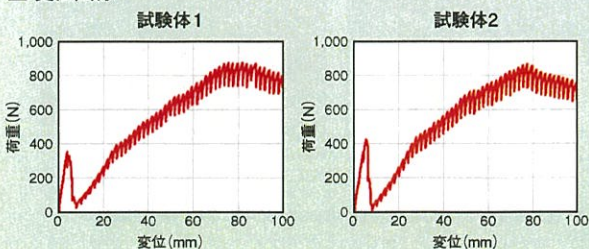
規定値:P=500N D≤50mm

(規格値ではありません)



試験体1の試験後の状態

### ■ 変位曲線



### ■ 試験条件

- ・テストピース パッチシールクロス HNS-200B  
長さ600mm×幅400mm、厚さ60mmを2枚作成。  
一つを試験体1、一つを試験体2とする。
- ・試験方法 NEXCO試験方法  
第7編トンネル関係試験方法(平成25年7月)試験方法734-2011  
トンネルはく落防止用繊維シート接着工の押し抜き試験方法に従って測定。  
試験にはインストロン ジャパン カンパニー リミテッド社製の型式 Model 5582を使用した。
- ・測定機関 一般財団法人 建材試験センター

# 信頼性

## 耐候性試験 17年間相当後でもゴム弾性を持ち、良好な状態を保ちます。

### ■ 試験結果

シート表面は破損箇所がなく、良好な状態を保っている。5,000時間(17年間相当)経過後は切断時伸びの低下はみられるものの、粘着力は初期より大きくなった。

項目	時間	初期値	1,750時間(6年間相当)後	5,000時間(17年間相当)後
引張強さ	N/mm <sup>2</sup>	10.0	10.3	10.5
切断時伸び	%	800	700	560
粘着力	N/50mm	8.2	10.5	11.1
シート厚さ	mm	1.79	1.73	1.74

(規格値ではありません)

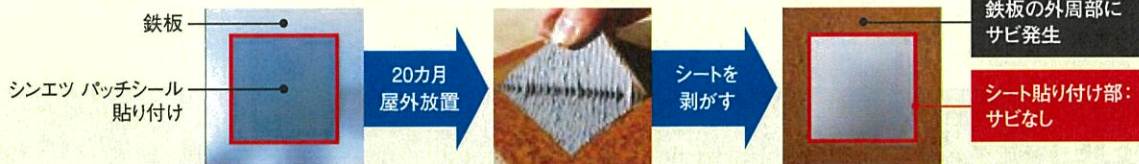
### ■ 試験条件

- ・テストピース シンエツ パッチシール HNS-200 長さ150mm×幅50mm
- ・被着体 ステンレス板(SUS-304)
- ・試験方法 シンエツ パッチシールをSUS板に貼り、外周をシーラントマスター-300-Gでシール。サンシャインウェザーメーターで120分/1サイクル、光源照射中に水を18分間噴射。1,750時間(6年間相当)、5,000時間(17年間相当)後に物性を測定。

## 屋外放置試験 サビの抑制効果を発揮します。

### ■ 試験結果 シンエツ パッチシールを貼った部分にはサビは発生せず、貼っていない外周部にはサビが発生した。

#### シンエツ パッチシールの防水性・防食性



### ■ 試験条件

- ・テストピース シンエツ パッチシール HNS-200 100mm角
- ・被着体 鉄板(SPPC)
- ・試験方法 シンエツ パッチシールを鉄板中央部に手で貼り、20カ月屋外放置。

## 塩害暴露試験 海水の塩害に対してもサビの抑制効果を発揮します。

### ■ 試験結果 2年間の放置暴露後も、シンエツ パッチシールを貼った部分にはサビは発生せず、貼っていない外周部にはサビが発生した。

#### シンエツ パッチシールの防水性・防食性



### ■ 試験条件

- ・テストピース シンエツ パッチシール HNS-200 長さ100mm×幅100mm
- ・被着体 鉄板(SPPC)
- ・試験場所 茨城県鹿島コンビナート内
- ・試験方法 シンエツ パッチシールを鉄板中央部に手で貼り、2年間岸壁の喫水部で放置暴露。

## 耐水・耐塩水・耐アルカリ・耐酸性試験 性能の変化はほとんどありません。

### ■ 試験結果 硬さ・引張強さで若干の変化があったが、重量変化はごくわずかであり、吸収はほとんどないことが確認できた。

項目	条件	初期値	水	5%塩水	5%苛性ソーダ	12%塩酸
外観		—	変化なし	変化なし	変化なし	変化なし
硬さ変化	Point	55	-5	-5	-13	-5
引張強さ変化率	%	10MPa	+4	+6	-15	+2
重量変化率	%	—	±0	+0.5	-0.1	+0.5

(規格値ではありません) 施工3年半経過後も雨水のはっ水性を維持

### ■ 試験条件

- ・テストピース シンエツ パッチシール HNS-200 JIS K-6249準拠テストピース
- ・試験方法 水・5%塩水・5%苛性ソーダ・12%塩酸に、シンエツ パッチシールの基材層を1週間浸漬し、取り出し後15分以内にJIS K-6249に準じて物性を測定。





## 施工実績

建設・土木用防水シリコン粘着シートは、優れた材料特性と施工性を兼ね備え、橋梁などの補修工事の簡略化と安全の維持に役立ちます。

## 橋梁

### 壁高欄縦目地(遊間)の防水シート (国土交通省 新技術情報提供システムNETIS TH-140017-A登録工法)



#### Point

従来工法のポリブタジエン樹脂での封止では約3年～5年で劣化しますが、シンエツパッチシートは20年以上の長寿命が期待されます。また、施工時はプライマー不要のため、工期も大幅に短縮できます。

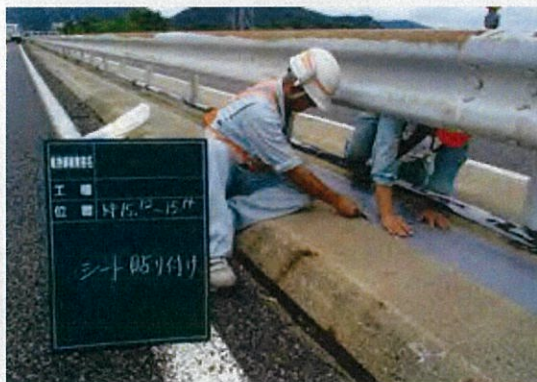
### 中央分離帯遊間の防水シート①



#### Point

従来工法の塩ビシートやウレタン樹脂に比べ、耐炎性、耐久性、疲労耐久性に優れています。

### 中央分離帯遊間の防水シート②



#### Point

道路や鉄道と交差する橋梁の中央分離帯水平目地への貼り付け。従来のポリブタジエン樹脂や塩ビ・ウレタン系防水シートと比較すると、耐候性・疲労耐久性に優れ、長期にわたり漏水・つららを防止できます。

### 車道橋・歩道橋水平遊間の防水シート

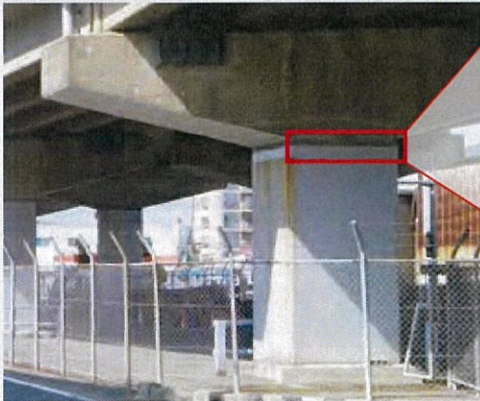


#### Point

車道橋と歩道橋の別々の振動に対して追従し、長期にわたり漏水・つららを防ぎます。

# 橋梁

## 高架橋の耐震補強鋼板巻立て上部の防水・防食シール

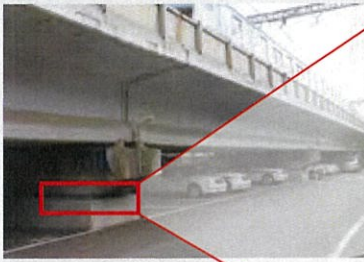


補修施工前の状態：  
鋼板上端部で雨水・融雪剤・モルタルから発生したイオン性成分により腐食が進行中していた。

**Point**

塗装鋼板の巻立て鋼板・モルタル脚注の両方にプライマーなしで貼り付けでき、両者の膨張係数の違いによる動きにも長期間追従します。

## 高架橋の耐震補強コンクリート巻立て工法のコンクリート打継部の防水シール



**Point**

古い既設脚柱と新しいコンクリート巻立て部分の間の防水。巻立てコンクリート部分内部への雨水浸透を防ぎ、耐震補強の長寿命化が期待できます。

## 高架橋の桁下部金属カバーの防水シール

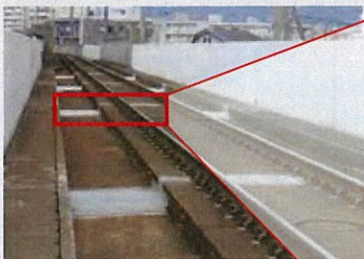


金属カバーとモルタルの間の雨水の浸入を防止

**Point**

モルタルの橋桁と金属カバーの両方にプライマーなしで貼り付けられる上、両者の動きにも長期間追従します。また、走行する鉄道車両による振動への疲労耐久性にも優れています。

## 鉄道高架橋スラブ軌道の目地の防水シール



**Point**

スラブ軌道のモルタル面にプライマーなしで貼り付けられ、夜間作業による工期の短縮が可能です。また、走行する鉄道車両による振動の疲労耐久性にも優れています。

# トンネル

## ボックスカルバートジョイント部の止水シール

P.7 NEXCO基準によるパッチシールクロス押し抜き試験結果から採用。



**Point**

塩ビ・金属製種 の代替として採用されました。パッチシールクロスと導水パイプの組み合わせで多少の段差があっても施工可能です。



ボックスカルバート外側のジョイントシール

# 排水溝

## 高速道路のノリ面の縦排水路へのベタ貼り



**Point**

ノリ面の老朽化したU字溝の新品への交換補修には、クレーンなどの重機が必要でしたが、シンエツ パッチシールを貼ることでU字溝自体の交換が不要になりました。

## トンネル内タイルの脱落防止



**Point**

トンネル内のタイル壁面にパッチシールクロスが採用されました。タイルが脱落し、車道に落ちるのを防ぎます。

## 排水溝ジョイント部の補修



**Point**

従来工法のモルタルでの補修に比べ、ミキサーや専門技能がなくても補修でき、養生時間も短縮。施工後はジョイントの動きに追従します。

## 工場建屋内コンクリート排水溝の補修

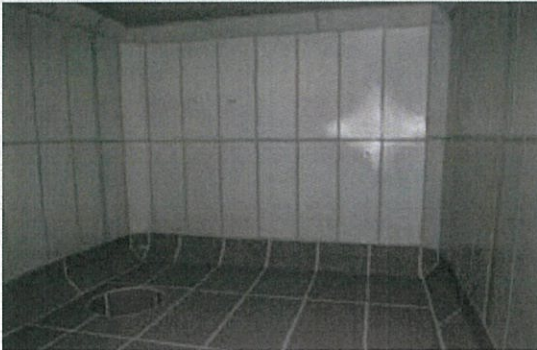


**Point**

水質汚濁防止法の改正(平成27年適用)に対応するため、汚染物質の地中への漏出防止が図られました。

# 水槽

## 防火水槽底面・壁面へのベタ貼り



シート端部同士は突合わせし、シンエツ パッチテープでシールしています。

**Point** 無筋コンクリート防火水槽のクラックによる漏水対策に効果がありました。

## 温泉貯湯槽内面への全面貼り



**Point** 温泉水による劣化を防ぎ、貯湯槽の保護に効果がありました。

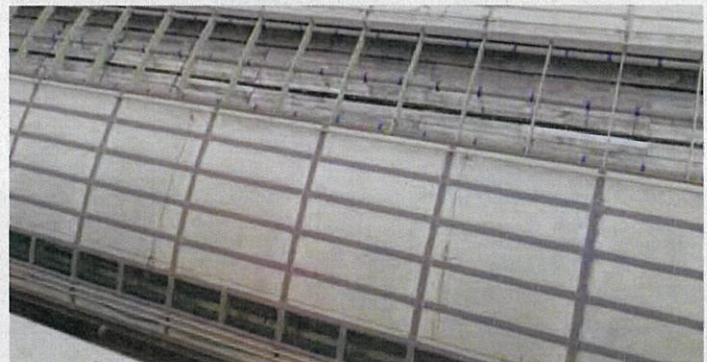
# その他

## 工場屋根の雨漏りシール



**Point** 配管の振動による架台の下の折板屋根の雨漏り対策。従来はコーキング材で補修していましたが、広い面をカバーさせるためシンエツ パッチシールが採用されました。金属の防食にも効果が期待できます。

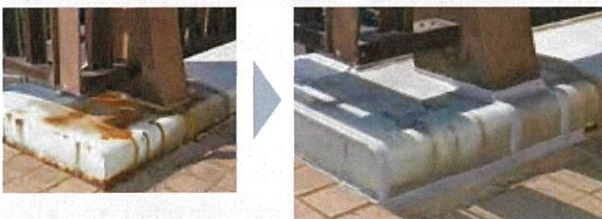
## 駅舎屋根 目地の雨漏りシール



**Point** 従来のシール材の上に敷設する形でシンエツ パッチシールを施工。公共交通機関では作業時間が夜間に限られるため、作業時間の短さ・施工用具の簡便さも評価されました。

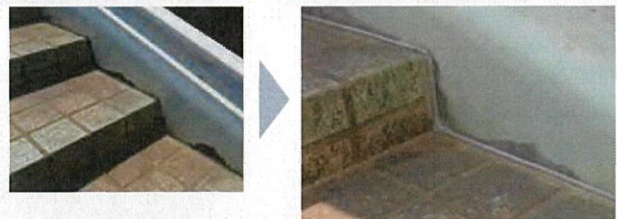
## 公共施設管理で注目される例

### 歩道橋 ペットのマーキング箇所



**Point** ペットのマーキングが頻発する箇所です錆が発生。パッチシールクロスを施工することで耐久性のある防錆ができます。

### 歩道橋 階段部分の雨水防錆



**Point** 通水部に接する側壁部分にパッチシールクロスを施工。上段から流れ落ちて滞留する雨水による錆を防止します。

# 施工要領

## ■ 施工手順

### step 1

#### 施工前の調整

シンエツ パッチシールの敷設面は二種ケレンと水洗を行い、下地を調整します。

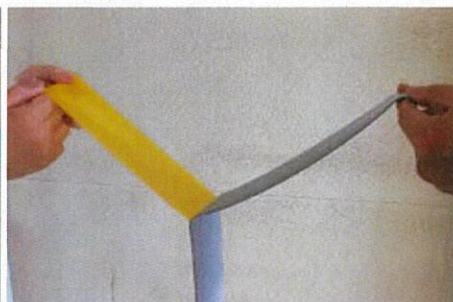
\*接着面が完全に乾燥しているかを施工前に確認してください。



### step 2

#### シンエツ パッチシールの準備

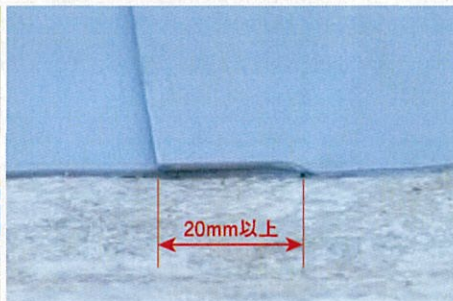
現場でカッターによる寸法調整が可能です。カット後、セパレータフィルムを剥がします。



### step 3

#### シンエツ パッチシールの貼り付け

上から下へシートを伸ばさないよう慎重に貼り付けます。貼り付け後は、シートを手で押すなどして貼り付け面をなじませます。重ね合わせ幅は20mm以上とします。



### step 4

#### シンエツ パッチテープでシール施工する場合

セパレータフィルムを付けた状態でシール箇所に乗せ、セパレータフィルムの上から被着体にローラーなどを使って押しつけてください。その後、セパレータフィルムを180度方向に静かに剥がします。



#### シーラントマスター300-Gでシール施工する場合

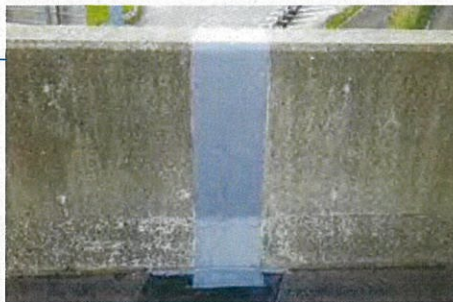
カートリッジ1本で約5mのシールが目安です。打設後はヘラで強く押さず、肉厚を維持してください。マスキングテープを使用すればよりきれいに仕上がります。



### step 5

#### 一昼夜で硬化・接着

シンエツ パッチテープ、シーラントマスター300-Gは空気中の水分と反応して硬化・接着します。このまま一昼夜おいて完成です。



シンエツ パッチシールおよびパッチシールクロス的设计価格(公表価格)は、一般財団法人建設物価調査会が出版する「建設物価」の防水材の項目に記載されていますので、合わせてご参照ください。

## シンエツ パッチテープ® 端部シール用シリコン接着テープ

シンエツ パッチテープは、シンエツ パッチシールの端部・重ね合わせ部分の仕上げに併用するシリコン接着テープです。

※イヌバテープと同仕様の製品です。

- 貼り付け後、一昼夜で硬化接着し、シンエツ パッチシールにもモルタル土台面にも強固に接着します。
- コーキングガン・マスキングテープが不要で、誰でも簡単にきれいに施工できます。
- パテ状物なので、衣服や施工周辺を汚すことなく、隙間への充填が可能です。
- 廃棄物が少なく、環境にも優しい製品です。

### ■ 包装・標準製品サイズ



#### ● 包装

アルミ防湿バック1袋に1巻入り  
(1梱包:10袋)

#### ● 標準製品サイズ

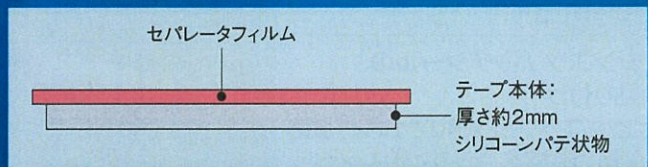
幅25mm×長さ3,000mm  
片面にピンク色のセパレータフィルム付。  
被着体に貼り付け後、  
セパレータフィルムを剥がします。

### ■ 一般特性

#### ● 硬化前(シリコンパテ状物)

色調	セパレータフィルム	ピンク
	テープ本体	ライトグレー

### ■ 構造



#### ● 硬化後(シリコンゴム)

試験項目	試験方法	測定値	環境条件(養生日数)
硬さ Aタイプ	JIS K 6249	45	23°C/50%RH(8日間)
引張強さ	MPa JIS K 6249	5.4	
伸び	% JIS K 6249	730	
引裂強さ アングル型	kN/m JIS K 6249	16	
対モルタル接着性*	N	22	23°C/50%RH(8日間)
	N	17	40°C/95%RH(8日間)
対シンエツ パッチシール接着性*	N	47	23°C/50%RH(8日間)
対シンエツ パッチテープ接着性*	N	65	23°C/50%RH(12日間)

\*180度 剥離、テープの幅:10mm

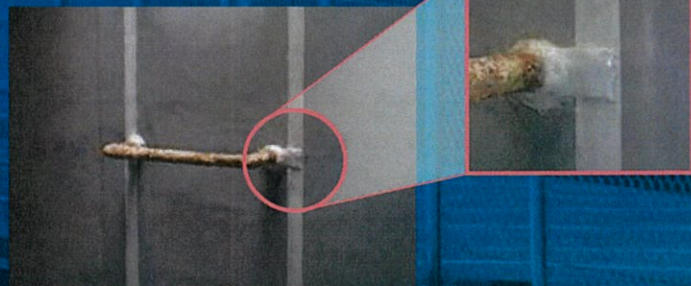
(規格値ではありません)

### ■ 施工例

#### 端部・重ね合わせ部分のシール



#### はしでシャフト根元シール



#### ポイント

シリコンシーリング材と比較して、  
作業効率がアップし、仕上がりも良好です。



#### ポイント

シャフトの根本にパテのように  
細工が可能です。

## パッチシールクロスリペアキット 簡易補修用シリコン粘着シート

パッチシールクロスリペアキットは建設・土木の簡易補修用に適した製品です。定期点検時に発見した小規模なクラックや漏水に対し、パッチシールクロスリペアキットで簡易補修。大掛かりな工事也不必とせず、どなたでも補修することができます。

- 予めカットされおり、現場での作業性が良好です。
- コンパクト梱包で、持ち運びが容易です。
- 簡易作業で補修ができるため、工事申請等の手続きが不要です。
- 大小さまざまな破損個所に対応します。

〈外箱寸法〉12×22×10cm/約900g

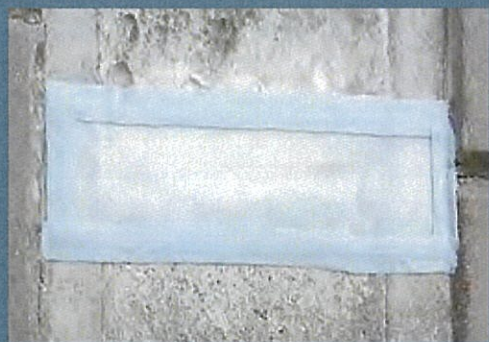
〈梱包内容〉パッチシールクロス® 200mm×200mm:6枚/100mm×400mm:4枚



### ■ 施工例



クラック部を清掃し、乾燥後パッチシールを貼れば、補修完了。



パッチシールクロス貼付後、  
シンエツ パッチテープで端部を処理した例。

### 歩道橋の雨だれによる錆をパッチシールクロスで補修



錆部を磨き、清掃後にパッチシールクロスを貼り付けます。

## 取り扱い上の注意事項

1. 溶剤や油分などが付着すると、物性が低下する恐れがありますので、ご注意ください。
2. 施工後に破れや剥がれが生じた場合は、その部分をシンエツ パッチシールと、シンエツ パッチテープまたはシーラントマスター300-Gを用いて補修できます。
3. 施工後、シートの上に重い物や鋭利な物は置かないでください。  
また、敷設後は強い衝撃や摩擦を与えたり、シートの上を歩行しないでください。
4. シンエツ パッチテープやシリコンシーラントの接着に不備がある場合は水が浸入しますので、施工には十分注意してください。
5. 敷設後に、施工面とシートの間に残存する空気により、部分的に膨らみが生じることがあります。
6. 低分子シロキサン対策品ではないため、電気・電子用途には使用しないでください。
7. 飲料水や食品に直接接触する用途には使用しないでください。
8. 廃棄時は、SDSをご一読の上、法に基づいた処理をしてください。
9. ご使用前に安全データシート(SDS)をお読みください。SDSは、担当営業部署までご依頼ください。





シンエツ パッチシール、パッチシールトウメイ、パッチシールクロス、  
シンエツ パッチテープ、パッチシールリペアキットについてのお問い合わせは

本社 シリコン事業本部 〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-1 朝日生命大手町ビル  
営業第三部 ..... ☎ (03)3246-5101

大阪支店 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-11-4 損保ジャパン日本興亜肥後橋ビル ..... ☎ (06)6444-8226  
名古屋支店 〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-5-28 桜通豊田ビル ..... ☎ (052)581-6515  
福岡支店 〒810-0001 福岡市中央区天神1-12-20 日之出天神ビル ..... ☎ (092)781-0915

ご用命は

- 当カタログのデータは、規格値ではありません。また記載内容は仕様変更などのため断りなく変更することがあります。
- ご使用に際しては、必ず貴社にて事前にテストを行い、使用目的に適合するかどうかご確認ください。なお、ここで紹介する用途や使用方法などは、いかなる特許に対しても抵触しないことを保証するものではありません。
- 当社シリコン製品は、一般工業用途向けに開発されたものです。医療用その他特殊な用途へのご使用に際しては貴社にて事前にテストを行い、当該用途に使用することの安全性をご確認のうえご使用ください。なお、医療用インプラント用には絶対に使用しないでください。
- このカタログに記載されているシリコン製品の輸出入に関する法的責任は全てお客様にあります。各国の輸出入に関する規定を事前に調査されることをお勧めいたします。
- 本資料を転載されるときは、当社シリコン事業本部の承認を必要とします。

		当社のシリコン製品は品質マネジメントシステムおよび環境マネジメントシステムの国際規格に基づき登録された下記事業所および工場にて開発・製造されています。
		
		群馬事業所 ISO 9001 ISO 14001 (JCQA-0004 JCQA-E-0002)
		直江津工場 ISO 9001 ISO 14001 (JCQA-0018 JCQA-E-0064)
		武生工場 ISO 9001 ISO 14001 (JQA-0479 JQA-EM0298)

<https://www.silicone.jp/>